

平成23年度田辺高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>「人間力ある人づくり」を目指して</p> <p>1 生徒一人ひとりを把握し、多様な組織的な教育活動を個に応じて展開する。</p> <p>2 普通科および工業に関する専門学科の併設を生かした教育活動を展開する。</p>	<p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境のもと、生徒個々の課題である確かな学力の向上は、見られた。その結果、進学や就職で希望進路の実現が達成できた。 <p>部活動では、ハンドボール部男子が夏の府大会で2位に入賞、府の新人戦でも男子3位、女子2位となり、男女それぞれ近畿大会に出場した。機械工作部が、府下のロボット大会で優勝し、5年連続全国大会に出場した。自動車科の課題研究で製作した移動式茶室2号機を上海万博に出展し、本校を世界にアピールすることができた。また、国民文化祭に向けてお茶運びロボットや自走式まゆまるロボットを製作し、地域のイベントに出展し人気を博した。</p> <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2、3学年において、前年より原級留置、中途退学等による進路変更した生徒数は減少した。 <p>学力の向上を目指し、教育環境の更なる充実を図るとともに、生徒に対して身だしなみ指導の一層の充実と校則を守るという規範意識を育て、本校の学校経営方針の「人間力の育成」を具現化する。</p>	<p>1 原級留置、中途退学等による進路変更の生徒数を更に減少させる。</p> <p>2 基本的な生活習慣を確立し、規範意識を高め、規律正しい学校生活の実現に努める。 ～上記目標の達成のため、具体的には校則を遵守させ、清掃活動、挨拶励行活動について一層の指導を充実させる。</p> <p>3 生徒一人ひとりの学習意欲を喚起し、個に応じた指導により、確かな学力を育む。</p> <p>4 工業教育推進の教育体制を一層確立し、系統的進路指導の充実を図る。</p> <p>5 「人間力の育成」に係る大きな側面である部活動、特別活動、自主活動をより一層推進する。</p> <p>6 本校教育活動の保護者、中学校、地域等への広報を一層推進する。</p> <p>7 上記の6項目を推進するため、各分掌・教科が連携を図り、重層かつ組織的な教育活動を推進する。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
学習指導	教科指導の充実を図る。	<p>生徒実態調査を実施し、分析することによって生徒の実態を把握する。</p> <p>-----</p> <p>公開研究授業を実施し、指導力の向上を図る。</p> <p>-----</p> <p>生徒による授業アンケートを実施し、授業改善に役立てる。</p>		
	組織的な指導を推進する。	<p>耐震工事による制約の中、授業・考查を適切に計画し、円滑に実施する。</p> <p>-----</p> <p>「授業を考える週間」を設け、授業規律の確立に努める。</p>		

学習指導	組織的な指導を推進する。	生徒の学力伸長・基礎学力充実を達成する適切な教育課程を検討する。			
生徒指導	基本的生活習慣と学習習慣を確立する。	身だしなみ等に関して全教職員が一致した指導を実施する。 ----- 生徒の実態把握し、授業規律を確立する。 ----- 問題行動の未然防止を図る。			
特別活動	自主性、自発性を育成する。	学園祭を成功させる。 ----- 部活動を活性化させる。 ----- 生徒会・ボランティア活動を活性化 する。			
進路指導	希望進路を達成する。	自己理解を深め、望ましい勤労観・職業観を養うために、効果的な進路指導を計画・実施する。 ----- 希望進路実現のため、学力向上に向けた補講や模擬試験を計画し、継続的に実施する。 ----- 生徒や保護者との進路相談を充実するため、個別面談や進路説明会を実施する。			
人権教育	人権意識の高揚及び実践的態度を育成する。	社会の実態や生徒の実状に即した効果的な人権学習を実施する。 ----- 学校全体に人権についての理解を深めることで、人権感覚を高め、相互を尊重する態度を養う。			

工業教育の充実と発展	専門科目における基本的な知識・技術を身につけさせるとともに、各種資格において取得率向上、各種競技大会では好成績を目指し、進路実現に繋がる、より充実した体制を確立する。	国家資格や検定等の講習会等をより計画的に実施し、生徒の基本的学力向上に努める。 ----- 工業に関する各種競技会等において、一層の好成績を目指す。				
	企業などにおける、実際の技術・研究に触れる機会を企画	大学や企業の見学会及びインターシップを計画的に実施する。 ----- 外部技術者による講演や実技指導等を計画的に実施する。				
家庭・地域社会との連携	中高連携と広報活動を充実する。	中学生・保護者の本校に対する理解や関心を高めるため、学校説明会や施設見学を実施する。 ----- 公開授業及び学習発表会を実施し、本校の教育活動を公開する。 ----- 部活動等において、地域の諸活動への参加を促す。				
	ネットワークの運営・管理をする。	ネットワークを安全に運営・管理し、ホームページ等様々な媒体を活用して、生徒の活動を学校内外に紹介する。				
次年度に向けた改善の方向性						